

天然記念物として保護されてきた鹿。  
害獣として駆除されてきた鹿。  
奈良の鹿をめぐる問題を、  
対立ではなく対話で解決するために。  
《ホームページより引用》

問題点の一つ  
「鹿の増えすぎにより危機に瀕する森林」  
についての一考察を次に示します。

### 【鹿により危機に瀕する森】 春日山原始林

春日大社の聖域として、110年を越えて守られていた春日山原始林。天然記念物に指定されているうえ、世界遺産「古都奈良の文化財」構成資産のひとつであり、文化的にも価値を認められている原生林です。

狼や野犬が消滅したこともあってか、鹿による下層植生の過度の食害が生じており、ナラ枯れや外来種ナンキンハゼの侵入もみられ、危機に瀕しています。



昭和41年(1971)撮影  
写真撮影：厚見昌彦氏  
画像編集ソフトでカラー化



令和6年(2024)撮影  
左写真のように、1971年下層植生に覆われていた幹が露出

春日山から流れ出る水谷川は、かつては雨の後でも濁ることはなかったと言われていたのですが、近年では下層植生の減少によって、土壌への雨のあたりが強くなったためか、まとまった雨の後には濁るようになっていました。土壌が流出することでますます倒木が起こりやすくなり、山が崩れつつあることが見て取れます。



昭和41年(1971)撮影(原画)  
写真撮影：厚見昌彦氏